

令和8年度

運営に関する計画（案）

大阪市立今福小学校

令和8年4月17日

大阪市立今福小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

1 はじめに

○ 大阪市教育振興基本計画（令和8年度～令和11年度）の基本理念

全ての子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を備え、健やかに成長し、自立した個人として自己を確立することをめざします。あわせて、グローバル化が進展した世界において、多様な人々と協働しながら持続可能な社会を創造し、その担い手となることをめざします。

○ 今福小学校の目指す子ども像

- ① 自ら考え、判断し、表現する子ども
- ② 人の気持ちを考えて行動する子ども
- ③ 健康や体力に関心をもち、たくましく生きようとする子ども

大阪市教育振興基本計画及び目指す子ども像を踏まえた学校の現状と課題を明らかにする。

2 令和7年度までの状況と課題について

【安全・安心な教育の推進】

○これまでの家庭・地域・学校が協力して教育活動にあたってきた成果が出ている。

・令和7年度大阪市小学校学力経年調査では、

「学校に行くのは楽しいと思いますか」肯定的回答の割合：88.8%（令和6年度：89.7%）と、令和7年度までの中期目標の85%を超える結果を維持している。

「自分にはよいところがありますか」肯定的回答の割合：77.8%（令和6年度：80.6%）と、こちらについても中期目標の77%を超える結果を維持し続けている。

○一方で、様々な理由により「教室に入りにくい」、「学校に登校しにくい」といった児童について、本校も他の多くの小学校と同じく存在している。令和7年度に年間30日以上欠席した児童数は、11名と全児童数の1割以上であり、そのうち不登校傾向にある児童は4名おり、増加傾向にある。

○本校には支援を要する児童が多く在籍している

(令和8年度：20名 全児童71名中28.2%)

インクルーシブ教育の充実と推進に向け、合理的配慮に基づく学習環境の整備を進めていく。

以上のように、学校は楽しいと答えたり、自己肯定感が高かったりする児童も多くいる中で、そうではない児童や合理的配慮を要する児童を、いかに取り残さずに同じ今福の仲間として包摂していくのが、本校の課題である。

体験活動の充実による豊かな心の育成に取り組むとともに、集団登校や縦割り班、異学年での活動等を多く取り入れることで目指す子ども像にある「人の気持ちを考えて行動する」機会を創出し、「人の役に立てた」と自己有用感を高め、それによる「自分にはよいところがある」と自己肯定感をより高めていきたい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○ 次期学習指導要領の方向性の中で「主体的・対話的で深い学びの実装」「多様性の包摂」が基本的な考え方として示された。多様な子どもたちが主体的に、多様な友だちと協働しながら、深い学びを確かなものにしていけるよう、授業改善を進めていく必要がある。

・令和7年度大阪市小学校学力経年調査では、

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、33.3%（令和6年度：49.5%）と、令和7年度までの中期目標の35%を下回る結果となった。

話し合う活動だけに終わるのではなく、自分の考えを深める、広げるといったところまで到達できる、対話的な学びをより高めていく必要がある。目指す子ども像にある「自ら考え、判断し、表現する」ことができる子どもの育成を目指していく。

○ 体力面において

・令和7年度大阪市小学校学力経年調査では、

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、88.9%（令和6年度：66.2%）と、令和7年度までの中期目標の62.6%を大きく上回る結果となった。教職員が楽しい体育科授業を目指して、自主的に研鑽したり、研修に参加したりした成果が出たと考える。今後も、体育科の授業改善については、大阪市体育部などの協力を得ながら、体育実技研修会を行っていく。

その他では、

○ 基礎・基本の学習を積み重ねていき、漢字検定にチャレンジするなど意欲をもって学習できるような環境を継続して整備していく。【漢字検定の実施】

○ 学習者端末を持ち帰りや自主学習ノートの使用、夕方スペシャル教室の取り組みを通じて自ら学習する姿勢を身につけられるようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

○ 教育におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進のため、また多様な子どもが自分に合った学び方を身につけていけるようにしていく。そのために、デジタル学習アプリケーション（ドリルプラネット）を導入する。

「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和11年度末に80%にすることを目標に取組を進めていく。

○ 教員の長時間勤務については、本校は教職員の努力と保護者・地域の協力のもと令和7年度目標を達成している状況であるが、今後、学校環境整備に関する業務の追加も予想される。

さらなる業務の効率化や均等化を図り、より児童に関わる時間を確保し、授業の改善につなげていけるようにしていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 1 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 2 令和11年度の大阪市学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(新規項目)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 2 令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」において、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 1 令和11年度の大阪市学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(新規項目)
- 2 令和11年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
(新規項目)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 1 令和8年度の大阪市学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。【令和7年度：88.8%】
- 2 令和8年度の大阪市学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（新規項目）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 1 令和8年度の大阪市学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 2 令和8年度の大阪市学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」において、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 1 令和8年度の大阪市学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
(新規項目)
- 2 令和8年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
(新規項目)

大阪市立今福小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>1 令和8年度の大阪市学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。</p> <p>2 令和8年度の大阪市学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【2 豊かな心の育成】</p> <p>豊かな心を育成し、自己有用感や自己肯定感を高めるため、ゲストティーチャーを招いたり、校外の施設を見学したりするなど体験活動を充実させる。</p> <hr/> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>一人ひとりに寄り添う丁寧な指導を実現するため、教育環境の整備を進めるとともに、教職員が共通理解を図りながら組織的に対応できる体制を整える。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・年度末児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。</p>	
<p>令和8年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <p>○取組の実施状況（令和7年度 校長経営戦略予算中心に）</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月 6日（金）芸術鑑賞（影絵） 6月12日（木）田植え体験（5年） 6月30日（月）弁護士によるSNS講座（5・6年 区役所事業活用） 9月 9日（火）読書活動（お話の会）（全学年） 9月22日（月）トップアスリート（走り高跳び）による夢授業（5・6年） 10月 9日（木）米作り稲刈り体験（5年生） 10月28日（火）韓国・朝鮮の文化体験（2・4・5年生） 10月28日（火）こころの劇場ミュージカル鑑賞（6年生） 11月18日（火）盲導犬学習（3年生） 11月20日（木）茶道体験（4年生） 1月26日（月）キッズニア甲子園卒業遠足（6年生） 	

2月13日（金）プログラミング体験（4年生）地域事業

※令和7年度実績に基づいて令和8年度も実施していく予定。

※今年度は、近くの日本語学校とのジョイント企画で、ネパールやベトナムなどの文化に触れる機会を検討中。

取組内容②

【取組の実施計画】

教育環境の整備

・学年チーム制

低中高と3チーム編成。それぞれのチームに担任×2、専科、なかよし担当者を置き、4名で構成される。

※今年度は、各学年に担任と副担任（専科 or なかよし）を設置して、複数で児童や保護者の対応を担う体制にしていく。

・複式学級体制

1・2年、3・4年は朝の会や給食を同じ教室で過ごすように配置。学習も一緒に取り組めるものは取り組み、友だち関係を広げられるように工夫。

5・6年についても、給食を一緒に食べたり、休み時間に一緒に遊んだり、友だち関係を広げるように工夫していく。

・夕方スペシャル教室

学力向上重点化予算がなくなった（令和4～7年度）が、放課後週2日（水・木）を基本として、学習会を継続。夏季休業日の学習会について、1週間学習会を実施予定。

・朝の集会活動の充実

月曜日の朝の時間を、朝礼（1）集会活動（2）小集会活動（1）に再編。小集会活動は、1～3年生、4～6年生の小集団に分かれて活動する。

教職員が共通理解を図りながら組織的に対応できる体制

・児童理解のための校内委員会（毎月）、人権研修会（5月）の実施。

・不登校児童対応委員会を設置し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携したケース会議を実施。

・いじめの考える日の設定（5月）、いじめアンケートの実施から聞き取りを学期に1回実施。

・心の天気を活用した児童見守りの実施。

・特別支援学級在籍児童の情報交換を定期的に実施。

・職員朝会（木）時に、児童の様子を共通理解する取組の推進。

今後改善点

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>1 令和8年度の大阪市学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>2 令和8年度の大阪市学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」において、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」の実装に向けた授業改善の取組を進める。</p> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】 体育科の実技研修会等を実施し、体育授業の改善の取組を進める。</p> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「運動（体を動かす遊び・を含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

令和8年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容① ・校内研究テーマを「思いや考えをすすんで表現し、できた喜びを感じられる子どもを育てる～話し合い活動を通して～」と定め、研究を進めてきている。柱の一つである「授業を共有化（シェア）する」場の工夫で、ペアトーク、グループトーク、全体での共有と国語科に限らず表現できる場を設定する取組を今後も継続していく。</p> <p>取組内容② ・体育科の授業公開の案内にも努め、よい授業を見て学ぶことを通じた体育科授業力の向上を図っていくことで、運動好きな児童の増加を図る。 ・校内でも大阪市小学校教育研究会体育部の協力を得て、実技研修会を行っていく。 ※ 大阪公立大学（区役所共同事業）の協力を得て、5月に3～6学年対象に「投運動」を3時間単元実施予定。</p>	

今後の改善点	
年度目標	達成

	状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>1 令和8年度の大阪市学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(新規項目)</p> <p>2 令和8年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。 (新規項目)</p>	

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 児童一人一人が自分のペースで理解しながら学習を進めていけるように、学習者用端末を効果的に活用した、学習形態の在り方について研究する。</p> <p>指標 年度末児童アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 校務分掌の見直しや人員の適正な配置、SKIPの活用などによる業務改善を進めていくことで、勤務時間の適正化を図る。</p> <p>指標 令和8年度の教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。</p>	

<p>令和8年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>取組内容①【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ・ドリルプラネット（光文書院）を導入し、児童が自分のペースに合わせた学習を進めていけるようにする。</p> <p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・令和7年度の本校の時間外労働時間平均は、18時間25分であり、大阪市中期目標を下回る水準である。 しかしながら、教頭はじめ45時間を超える月がある教員の存在もあり、業務量の平準化をはかる必要や、休憩時間をとれるような取組も並行して進めていく。 ※今年度は、水曜日を15時下校として教員が休憩をとったり、打ち合わせを行ったりできるようにしていく。</p>

<p>今後の改善点</p>
<p></p>

